

2021 年 12 月 7 日

京都市内 141 店舗に「ペットボトル回収機」を設置

12 月 7 日（火）より順次稼働開始

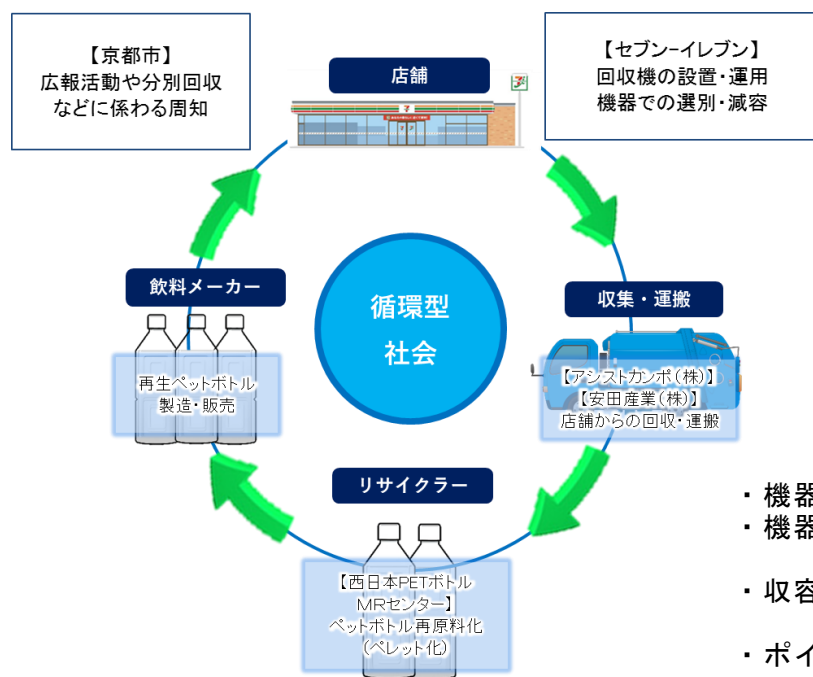
株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦 以下セブン-イレブン・ジャパン）は、12 月 7 日（火）より順次、京都市内 141 店舗に「ペットボトル回収機」を新たに設置し、限りある資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目的としたペットボトル回収事業を開始します。

セブン-イレブン・ジャパンは、京都市と締結している『地方創生包括連携協定』に基づき、伝統産業の振興や市内のセブン-イレブン一部店舗におけるお土産商品の販売などに取り組んでおります。持続可能な循環型社会を構築するために「京・資源めぐるプラン」を推進する京都市と共に、この度、環境負荷低減と資源循環を推進する取り組みを共に推進いたします。

地域社会と一体となったボトル to ボトル※によるプラスチックのリサイクルと海洋ごみ対策を促進し、“循環経済社会”の実現と海洋プラスチックごみの削減を進めてまいります。

※ ペットボトルを再原料化し、もう一度ペットボトルに戻すこと。

〔概要〕



- ・ 機器メーカー：株式会社 寺岡精工
- ・ 機器サイズ：W650×D 500×1,330
(単位：mm)
- ・ 収容量：280 本
※500ml ペットボトル換算
- ・ ポイント付与：累計 5 本毎
nanaco ポイントを
1 ポイント付与

◆「京・資源めぐるプラン」について

京都市では、令和 3 年 3 月に策定した「京・資源めぐるプランー京都市循環型社会推進基本計画（2021-2030）ー」において、「徹底したプラスチックの資源循環」を重点施策の一つに掲げ、民間と連携して、ペットボトルからペットボトルへの完全循環型リサイクルを促進しています。

〔ご参考〕

◆セブン・イレブン店頭のパットボトル回収機について

セブン・イレブンでは、2017年より店頭への「パットボトル回収機」の設置を開始し、現在1204台（2021年12月6日時点、京都市設置分除く）となっております。

また、お客様よりお預かりしたレジ袋代金における「本部収益相当額」を、パットボトル回収機の設置費用の一部に充てることで、更なるプラスチックのリサイクルに取り組んでおります。

※画像はイメージです。



◆回収したパットボトルの再利用について

セブン&アイグループ各事業会社の店頭に設置されているパットボトル回収機で回収されたパットボトルは、ボトル to ボトルの取り組みなどに活用され、再び、商品として生まれ変わります。

〔商品の一例〕

- ・『セブンプレミアム ー（はじめ）緑茶 一日一本 500ml』
- ・『セブンプレミアム ー（はじめ）緑茶 600ml』 各種
- ・『セブンプレミアム ー（はじめ）ほうじ茶 600ml』 各種



※本製品の再生PETボトルの原料として、セブン&アイグループ各店舗で回収された使用済PETボトルをリサイクルしたPET製ペールの100%を使用していることを表します。

明日にいいこと。つなげる、つづける。

以上